

7. 水源地域動態

ダム周辺の概況①

- ・ 札内川ダムは中札内村の西側、日高山脈襟裳国定公園内に立地し、中札内村市街中心部から約20km上流に位置している。
- ・ ダム及び貯水池は道道111号の最奥部に位置し、日高方面に通じる経路はない。



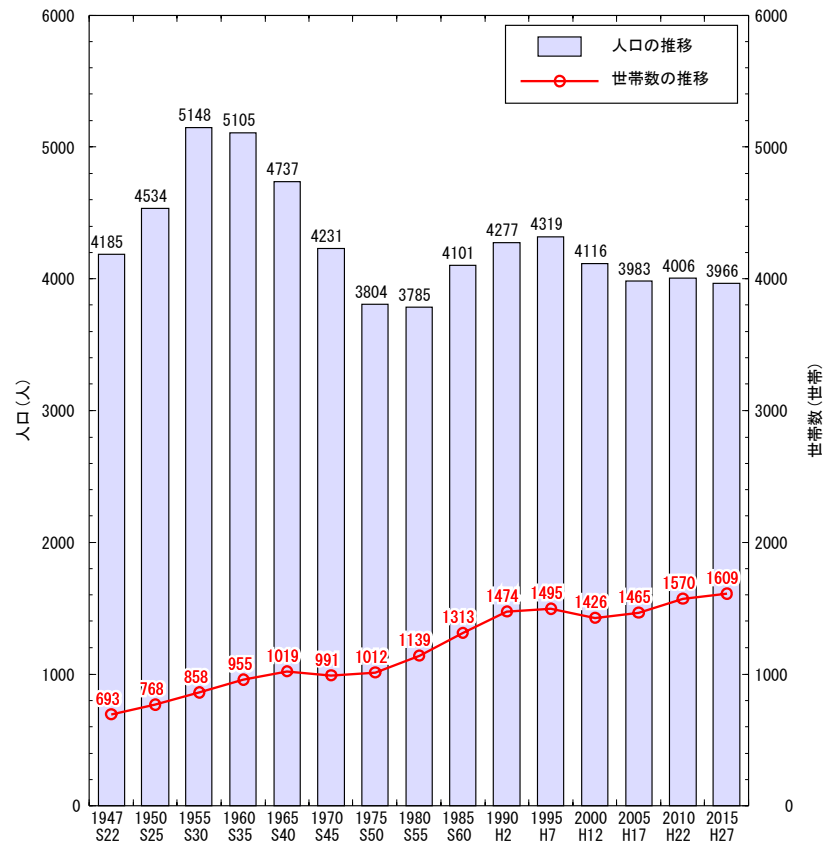
帯広・広尾道路の開通状況
 平成15年 (2003年) : 帯広JCT - 帯広川西IC間開通
 平成18年 (2006年) : 帯広川西IC - 幸福IC間開通
 平成20年 (2008年) : 幸福IC - 中札内IC間開通
 平成25年 (2013年) : 中札内IC - 更別IC間開通
 平成27年 (2015年) : 更別IC - 忠類大樹IC間開通

札内川ダム周辺の概況

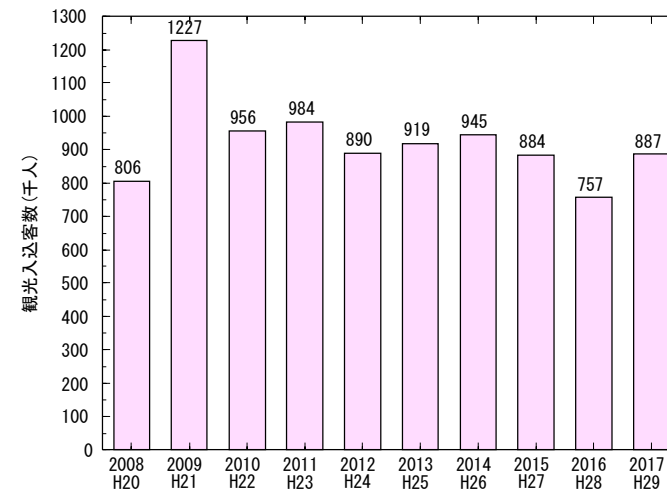
ダム周辺の概況②

- ・ 札内川ダムが位置する中札内村の人口は横ばいで、約4,000人であるが、世帯数は増加傾向にあり、約1,600世帯である。
- ・ 中札内村の観光客入込数は年間約89万人（平成29年）であり、周辺地域と比較し高い水準にある。
- ・ 札内川ダムの下流約20kmに十勝管内の重要な観光拠点となっている「道の駅なかさつない」があり、年間約74万人（平成29年）の観光客が訪れている。

中札内村の人口・世帯数の推移(国勢調査)



中札内村の観光客入込数の推移(北海道経済部観光局調べ)



道の駅なかさつない

ダム周辺の整備状況

管理支所

ダムギャラリー

北内川ダム

ピョウタンの滝

札内川ヒュッテ
(現在、土砂崩落のため
通行止め)

案内板

札内川ダム総合案内板1
トープの森

下流公園

ひょうたん池

日高山岳センター

H30(2018).10.3撮影

地域とダム管理者の関わり

- ・ 札内川ダムは、平成14年に水源地域ビジョン策定委員会を設立し、平成16年に「札内川ダム水源地域ビジョン」を策定した。その後、内容を縮小しながらも活動を続けてきている。
- ・ 近年では、地域住民にダムの役割等を知ってもらうことを目的として、管理支所や堤体等を一般開放する、「札内川ダム特別開放」を実施している。
- ・ 「ダムカード」を作成し、管理支所で配布しており、近年増加傾向にある。

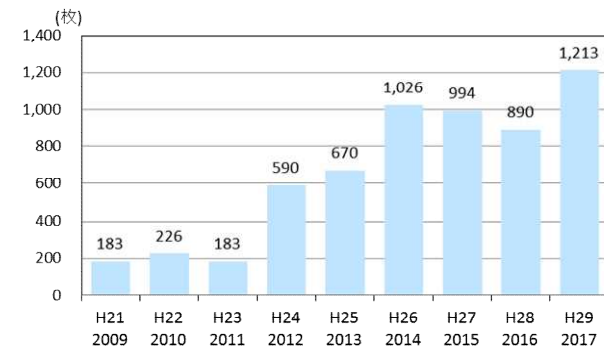
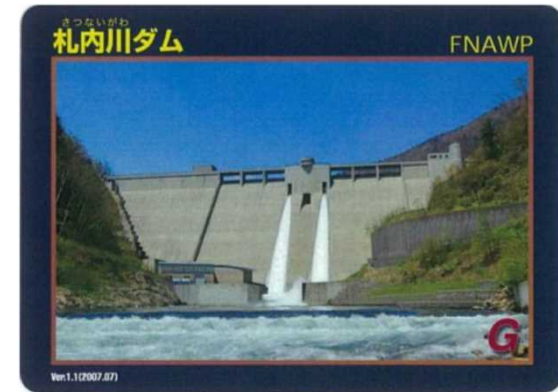
「札内川ダム特別開放」の状況 H29(2017).7.2



年	参加人数
平成25年(2013)	157人
平成26年(2014)	91人
平成27年(2015)	139人
平成28年(2016)	124人
平成29年(2017)	110人

※上記の人数は、管理支所の職員が案内した札内川ダム見学会の数である。

ダムカード



ダムカード配布枚数

札内川ダム20周年記念イベント（参考）

札内川ダムが平成10年に運用が開始されてから、平成30年で20周年の節目を迎えたことを記念し、「札内川ダム20周年記念行事」を開催した。

**札内川ダム
20周年記念行事**
7月1日(日)
時間：10時～16時
場所：札内川ダム
小雨決行

①ダム見学
見学時間：10時～16時（観覧受付 15時 30分）
・ダム本体の見学
・札内川発電所の見学
※ 電源開発（株）上士幌電力所

②災害対策用機械展示
展示時間：10時～16時
・水陸両用車、土のう造成機、対策本部車

③ダム湖巡視体験（各回先着順）
出発時間：10時、11時、12時、13時、14時、15時（計5回）
巡視船「ひばり」での巡視体験
・受付開始は各回先着順で出発の1時間前
・乗船料として1人100円
・1回の乗船の定員は6名（高校生の学生以上は2名）
※ 予約制での乗船となります。

④ダムカレー販売
販売時間：11時～午後6時（販売終了）
・60食限定、1杯500円 **当日限定**

⑤ダムカード配布
・20周年記念シール付き

協賛：中札内村、中札内村観光協会、電源開発（株）、つながろう！札内川水源地域の会
お問い合わせ先
国土交通省 北海道開発局 帯広開発建設部 帯広河川事務所 千089-1374 河内郡中札内村南札内 735-2
札内川ダム管理支所 TEL: (0155) 69-4666 FAX: (0155) 69-4677



ダム直下から見上げる
ダム見学

大好評で行列ができた
ダムカレー



札内川ダム20周年記念行事の参加者数

イベント項目	参加者 (人)
管理支所内を見学	108
ダム内及び管理支所内を見学	276
合計	384

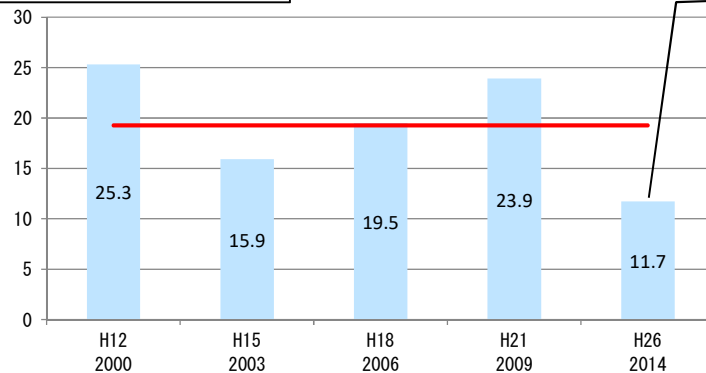
【参加された方の声】

- ・ダムは見るだけでしたからダムの名前も覚えていませんでした。自然破壊とか大きく報道されますが、この見学を通して考えが変わりました。
- ・これまで外側しか見たことがなかったので、とても貴重な体験でした。管理される方々の努力があって水道の水が飲めたり、作物を育てられるのだと改めて知る機会となりました。
- ・とても楽しいです。見学の案内ガイドさんも見事でした。また来たいです。
- ・初めて見る物が多く、非常に興味深かったです。
- ・説明が分かりやすく楽しかったので、また、このような時に来たいと思いました。

ダム周辺の利用状況（カウント調査の結果）

- ・平成26年度の年間利用者数は約12,000人となっており、前回調査より大きく減少しているが、雪崩によりダム下流の道道が通行止めとなり、春季調査から算定される利用者がいないことによるものであり、一時的な影響である。
- ・利用別内訳として経年的に「散策」が多く、平成26年度の調査では釣りの利用が大きく伸びている。

年間利用者数（総数）



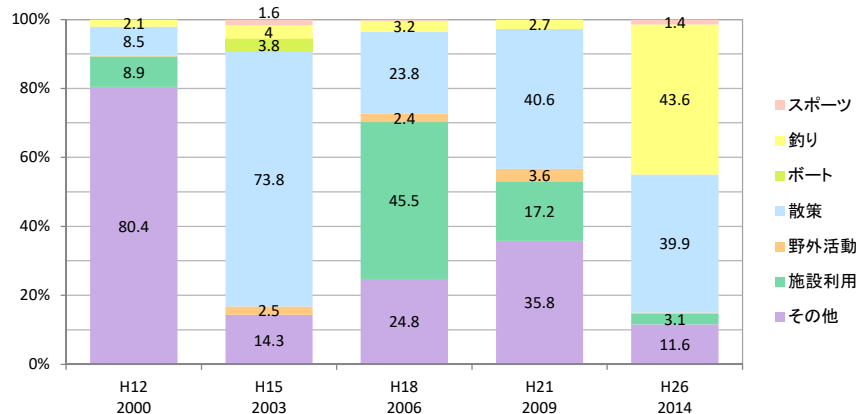
雪崩により春の調査(3回)分がカウントされていない。

ダム湖利用実態調査は、利用者のカウント調査を年間7日間(春季3日、夏季2日、秋季1日、冬季1日)実施し、各調査日の利用者実測数を用いて年間利用者数を推計している。

※札内川ダムでは冬季の調査は行っていない。

散策や立ち寄り、休憩など、施設利用に表れない来訪者も含め、ダム湖周辺全体の利用者数の経年的な傾向を把握することを目的として、全国同一の方法で調査・推計が行われている。

利用別内訳

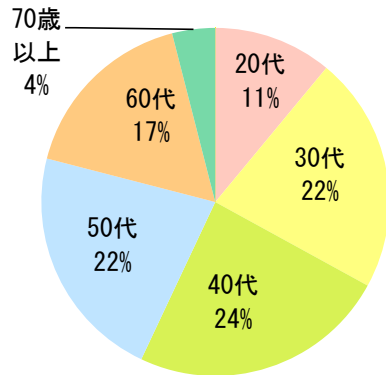


※平成12年の「その他」の割合が約8割となっているのは、ダム堤体等の見学に訪れた人が「その他」でカウントされているためである（平成15年・平成18年のダム堤体等の見学は「散策」または「施設利用」でカウントされている）。

※2：平成26年度は釣りの割合が多いが、7月と10月の調査において、札内川ヒュッテで多くの釣り人が確認されている。

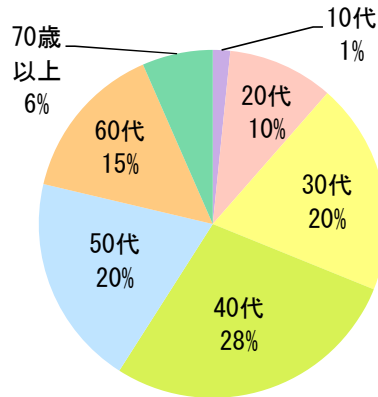
利用者の属性(アンケート調査の結果)①

調査対象者の年齢
H21 (2009)



n=97 回答率100%

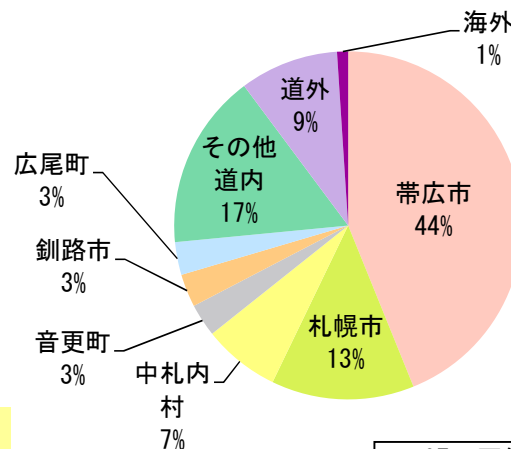
調査対象者の年齢
H26 (2014)



n=61 回答率100%

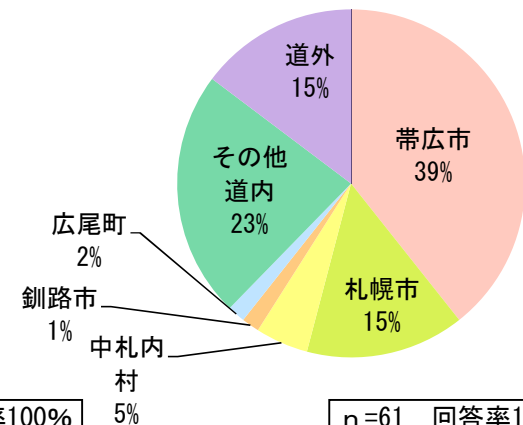
札内川ダムの利用者層は、20代から60代まで幅広い年齢層に利用されている。

調査対象者の居住地
H21 (2009)



n=97 回答率100%

調査対象者の居住地
H26 (2014)



n=61 回答率100%

札内川ダムの来訪者は、帯広市と札幌市が多く、約5~6割を占める。また道外からの来訪者が多いのが特徴である。

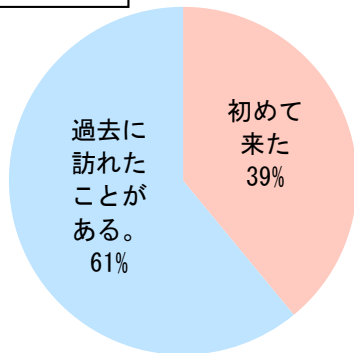
(資料：平成21年度、平成26年度「河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査)」利用者アンケート結果より)

利用者の属性(アンケート調査の結果)②

リピーター（「過去に来たことがある」と回答した人）は、平成21年は61%、平成26年は66%となっており、札内川ダムの利用者の6割以上がリピーターである。

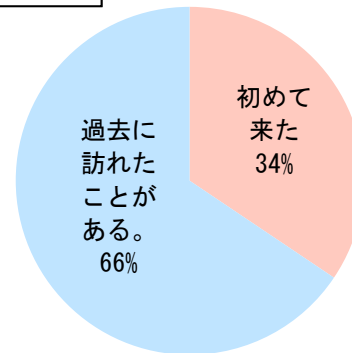
＜設問＞札内川ダムにははじめてお越しですか？

H21 (2009)



n=100 回答率100%

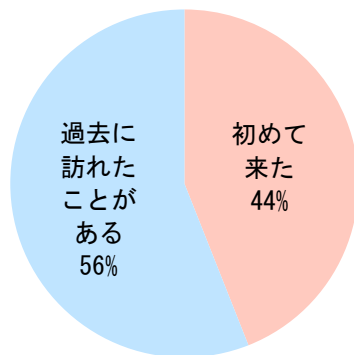
H26 (2014)



n=61 回答率100%
※雪崩により春の調査(3回)分が
カウントされていない。

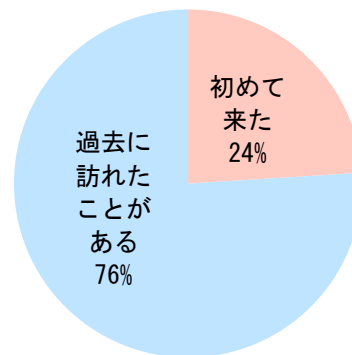
【参考：他ダムの結果 H26(2014)年】

金山ダム



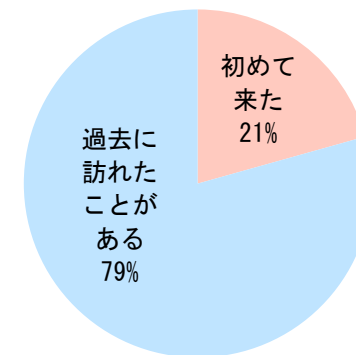
n=324 回答率100%

滝里ダム



n=142 回答率100%

大雪ダム



n=298 回答率100%

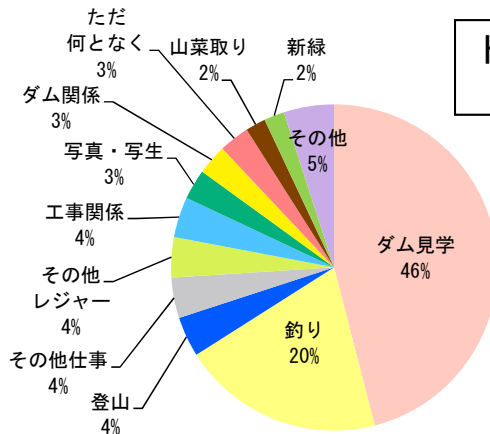
(資料：平成21年度、平成26年度「河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査)」利用者アンケート結果より)

利用者の属性(アンケート調査の結果)③

平成21年は「ダム見学」が半数近くを占めていたが、平成26年は「釣り」、
「紅葉」が増加し、この上位2つで63%を占める。季別の利用目的を次頁に示す。

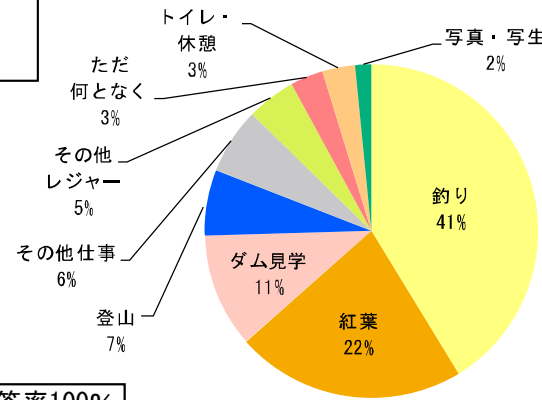
<設問> 札内川ダムに来た目的は？

H21 (2009)
通年



H26 (2014)
通年

※利用者アンケート対象者数 H21：100人、H26：61人
※複数回答となっているため、調査対象者数と回答数が異なる。

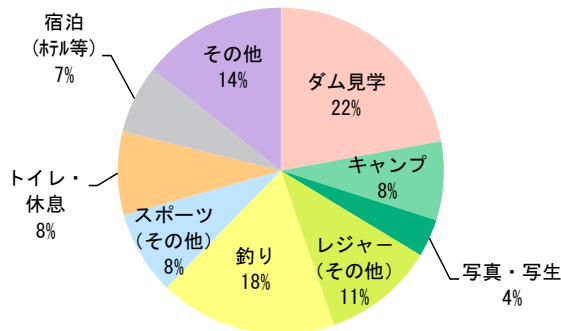


n=61 回答率100%
雪崩により春の調査
(3回)分がカウントさ
れていない。

n=97 回答率100%

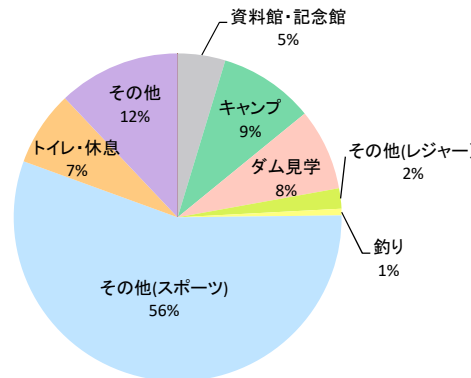
【参考：他ダムの結果 H26 (2014)年】

金山ダム



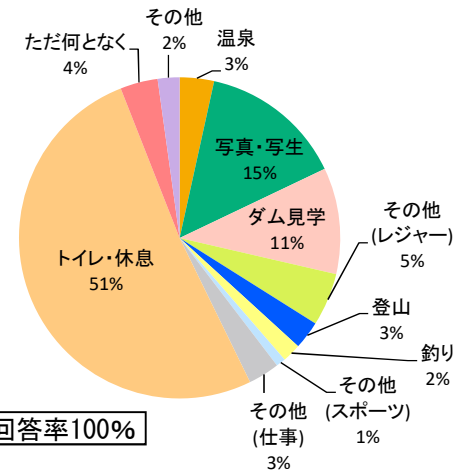
n=324 回答率100%

滝里ダム



n=142 回答率100%

大雪ダム



n=298 回答率100%

(資料：平成21年度、平成26年度「河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査)」利用者アンケート結果より)

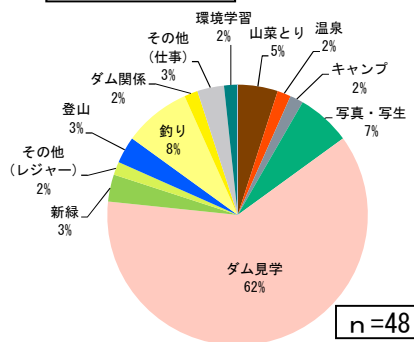
利用者の属性(アンケート調査の結果)④

- ・ 札内川ダムに来た目的について、平成21年と平成26年で変化している要因を季別の利用状況から比較した。
- ・ H21年春季にカウントされた「ダム見学者(62%)」がH26春季は雪崩の影響でカウントされていない。また、H26の夏季の「釣り(49%)」と秋季の「紅葉(53%)」が利用者数の割合に大きく影響している。
- ・ 「釣り」、「紅葉」は調査日の気象状況によって利用者数が増減することを踏まえると、通年での利用傾向に大きな変化はないと推定される。

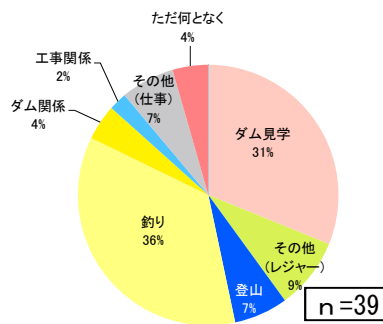
＜設問＞札内川ダムに来た目的は？

H21 (2009)

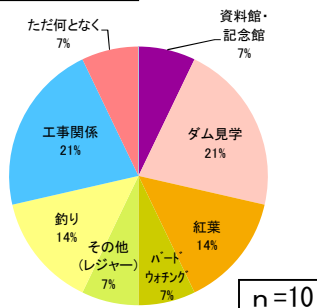
H21 (春季)



H21 (夏季)



H21 (秋季)



H21 (冬季)

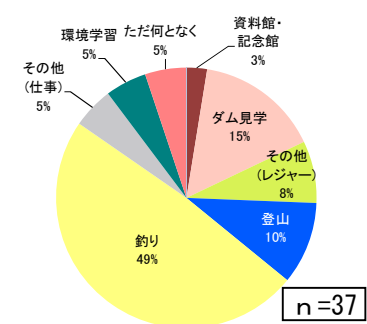


H26 (2014)

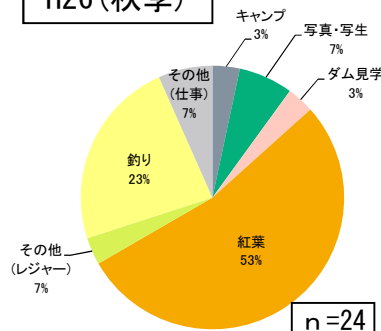
H26 (春季)



H26 (夏季)



H26 (秋季)



H26 (冬季)

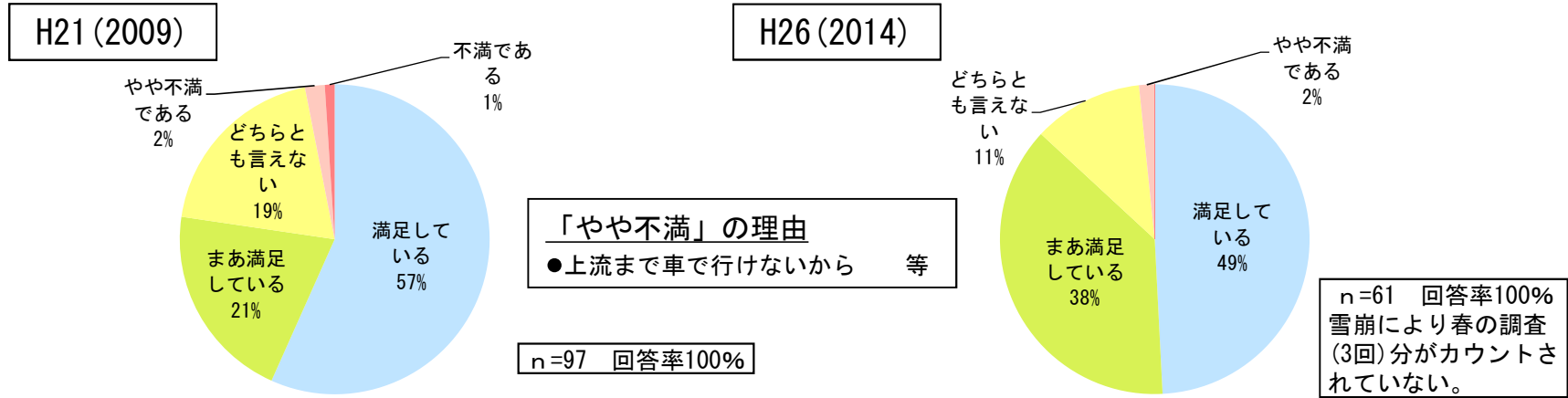


(資料：平成21年度、平成26年度「河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査)」利用者アンケート結果より)

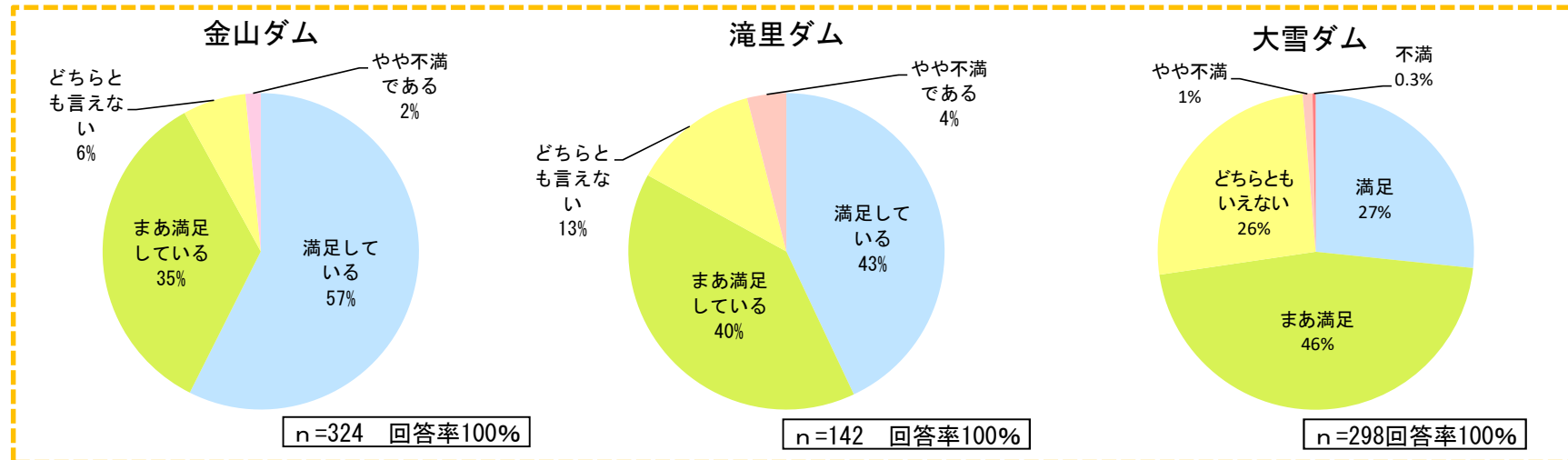
利用者の満足度（アンケート調査の結果）

札内川ダムを利用した感想を聞いた結果、平成21年は「満足」「まあ満足」合わせて約78%であり、平成26年は約87%と利用者の満足度は高い。

＜設問＞札内川ダムを利用した感想は？



【参考：他ダムの結果 H26(2014)年】



(資料：平成21年度、平成26年度「河川水辺の国勢調査（ダム湖利用実態調査）」利用者アンケート結果より)

◆ 水源地域動態のまとめ

項目	まとめ
地域の交流・連携等	● 札内川ダムは、ダムとダム周辺の豊かな自然環境を活用し、ダムやダム湖、下流公園等での自然とのふれあいの場、地域の憩い・交流の場を提供している。
情報発信・学習の場等	● ダム特別開放によるダム本体見学会を実施し、ダムの効果に対する理解の増進を進めている。 ● 利用者のダム湖利用の目的として、ダムの見学等の「散策」が多く、平成26年度の調査では「釣り」が大きく伸びており、幅広い年齢層に利用されている。
利用状況	● 年間利用者数（推計値）は約12,000人（平成26年度）であり、平成12年度以降の平均は、約19,000人である。

◆ 今後の方針

項目	まとめ
地域との係わり	● 教育や学習の場としてダム周辺を活用するとともに、利用者や地元関係者のニーズを把握し、拠点施設間の連携も含め、利活用の一層の活性化に努める。
利用実態調査	● 今後も利用形態の調査を継続的に実施する。 ● 季節毎の利用状況、天候や寒暖による影響など、利用者の動向を多面的に分析する。
今後の維持管理の留意事項	● 快適な施設利用ができるように今後も維持管理を行っていく。 ● 河川防災、地域の水道、農業用水及び電力供給等の面で地域に貢献していることをホームページやパンフレットにより情報発信する。
その他	● 地元住民活動団体の連携による組織「つながろう！札内川水源地域の会」や、中札内村の観光協会等と連携しながら、ダム事業に対する理解の増進に努めていく。